

まちづくり推進協議会って？

地域内の市民委員会や社会福祉協議会、消防団や包括支援センターなどの団体から構成されています。まち協では、地域が抱える課題やその解決策などを話し合い、まち協で検討された内容は、地域の有志が集まる実行委員会などによって、事業として実施されています。

東光まち協は、6つの市民委員会エリアで構成されています。東光まち協HP



忠別川

水源は大雪山系の忠別岳。天人峽、忠別ダムを経て旭川の市街部を流れる。旭川駅を超えた辺り、曙付近で美瑛川を合わせて、その後石狩川に合流する約60kmの河川。

参考：国土交通省 河川管理レポート

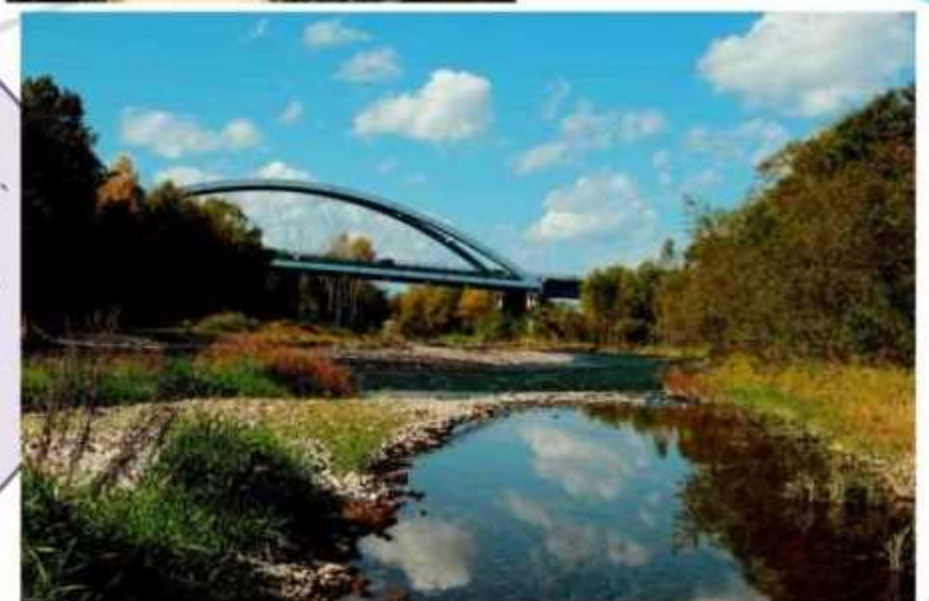


大正橋

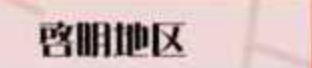
架設年：平成6年
橋長：218m

神楽岡方面と南方面を結ぶ橋。大正2年に架設されて以来、昭和5年、昭和18年、昭和31年と架け替えられ、現在の橋は平成6年に架設された。当初、明治46年(1913)に完成予定だったが、年号が明治から大正に変わったことから「大正橋」と命名された。下を流れる忠別川、周りの木々と橋のアーチが調和した景観が楽しめる。

参考：関根正次著 旭川の橋



<写真提供> 本村 富夫さん(東豊中央地区)



★防災セミナー★
東光地域の消防団、旭川龍谷高校インターアクトクラブ、地域住民が参加して、ポンプ車などの乗車体験、自主防消火栓等の動画視聴や地域防災についてのグループワークを東部住民センターで行いました。

◆東光消防団活性化実行委員会 主催



★特殊詐欺&悪質商法防止講座★
旭川東警察署、旭川消費者協会による、詐欺・悪質商法に関する講座を東部住民センターで実施しました。

◆シニアいきがい事業実行委員会 主催

★TOKO(トーカー)ポッチャCUP★
小学生から80代までが参加し、東部住民センターで開催。(17チーム34人)近隣企業からの協賛による賞品もあり、大いに盛り上がりしました。

◆東光(U・D)チクリンピック実行委員会 主催



★ごごべん(子どもの学習支援)★
小中学生を対象とした、東部住民センターでの学習支援。そのほか、ジオラマやポストカードなどの作製も行いました。

◆こども・みらい実行委員会 主催



★ちよだカフェ②★
認知症の方とそのご家族の方、地域の方との交流の場。若年性認知症の方の体験動画を鑑賞したり、グループワークを東光図書館で実施。東光図書館長による、認知症に関する書籍の紹介もありました。

◆シニアいきがい事業実行委員会 主催

とうこう新聞第5号 2024年2月15日発行
発行者：とうこう新聞発行事業実行委員会
連絡先：旭川市東部まちづくりセンター
(旭川市豊岡3条3丁目5番10号 TEL 33-1110)

東光地域包括支援センターは、65歳以上の方が利用できる総合相談窓口です。介護が必要になったときだけではなく、元気な頃から健康維持に取り組みよう学習活動の場の提供や、地域の運動サークル等の御紹介もしています。また、認知症の方が安心して暮らしていける地域づくりを目指し、広報誌の発行や認知症の学習会・認知症家族会を開催しています。介護保険外でも高齢者が活用できる制度やサービスについての御案内ができますので、お気軽に御相談ください。

【東光地域包括支援センター(東部住民センター内) センター長 五十嵐 巨典】



私たち旭川市消防団第3分団は、地域に精通した幅広い年齢層の団員で構成されており、機械器具や、消火栓などの消防水利の把握と点検、有事を想定した訓練を行い、地域防災体制の中心的存在となるよう活動しています。これからも、消防団員としての自覚と責任意識を強く持ち、地域の皆様の安心・安全を守る組織として努力して参りますので、今後とも御協力、御支援を賜りますよう、よろしく御願いいたします。

【旭川市消防団第3分団 部長 兼松 徳良】



啓明地区民児協は、男性6名、女性14名で活動しています。令和5年度の活動は、令和4年から行っている「住民支え合いマップ」の作成を継続しています。そのほか、子育てサロンを、毎月第一木曜日の10時から12時まで実施しています。サロンでは、お母さん達が連絡を取り合っており、啓明地区以外の参加者も増えています。また、児童虐待防止活動として、オレンジボンを作成し、啓明小学校や地域の保育園等に配布しています。

【啓明地区民生児童委員協議会 副会長 大城 民子】



東光地区市民委員会では、毎月2回、水曜日の午前9時から、東部住民センターで、地域の方の健康維持と親睦を目的に、ふまねっとやフロアカーリングなどの活動を行っています。ふまねっとは、50cm四方のマスの網を踏まないように歩く運動です。マスを利用した様々なステップがあり、これを間違えないように歩くことで、全身のバランスや、記憶力・判断力といった認知機能の向上に効果があります。参加無料です。お気軽に御参加をお待ちしています。

【東光地区市民委員会 会長 玉田 昌嗣】



◆東光地域で活動しています◆

啓明地区社会福祉協議会・市民委員会では、令和5年9月18日(日)、啓明地区センターで、米寿・喜寿を迎えられた16名の方々をお迎えし、令和5年度の敬老会を開催しました。新型コロナの影響で4年ぶりの開催でしたが「のぞみ一人ダンス」「すみれサークル」の舞蹈あり、啓明地区の町内会長、石田義久さんの手品あり、旭川市市ななかまで文化賞を受賞された「旭笑長屋」の大家、ナナカマド紅丸さんの落語では、会場が爆笑に包まれた楽しい会となりました。

【啓明地区市民委員会 会長 中島 哲夫】



東光児童センターは、東部住民センターと共に40年以上地域の方々に利用されています。児童(小・中・高校生)が来るのは放課後、土曜日が主ですが、学校の長期休業中は日曜日も開館し、職員や友だちと卓球や一輪車、縄跳びなど身体を使った遊びのほか、ボードゲームのようなルールがある遊びをしています。そのほか、入園前の乳児親子、東光地域へ引っ越して間もない御家庭の遊び場としても機能しています。

【こども・みらい実行委員会 会長 中村 幸江】



東光南地区社会福祉協議会は、設立10周年記念事業として、東光南地区の子どもと大人との交流、旭川市共同募金への協力を目的に、令和5年7月30日(日)第1東光団地広場で「東光南地区ふれあい祭り」を開催しました。約400名の参加により、飲食をしながら大道芸、消防車見学、屋外ゲームやビンゴゲームなどを楽しみ、交流を深めました。

【東光南地区社会福祉協議会 副会長 仁田 明】



東光南地区市民委員会では、令和5年10月15日(日)に「健康ウォーキング」を開催しました。当イベントは、今年度で4回目となり、高齢の方から子どもたちまで68名の方々に御参加いただきました。第一東光団地広場で準備体操を行い、緑東大橋から忠別川堤防、そしてツインハーブ橋を渡り、広場に戻る約5kmのコースを、晩秋の景色を楽しみながら歩きました。来年度も、皆様の御参加をお待ちしています。

【東光南地区市民委員会 会長 森 信行】



東光地域では

東光まちづくり推進協議会の意見に基づいて、地域の課題を解決するための実行委員会を立ち上げ、旭川市からの補助金等を活用し、さまざまな取組を実施しています。地域の方と協力して取り組んでみたい！という方であれば、誰でも実行委員になれます。

東豊中央地区

東部東光地区

千代田地区



★ちよだカフェ①★
認知症の方とそのご家族の方、地域の方との交流の場。家族を介護する方からの講話のほか、日々感じていることや体験談を東部中央公園で話し合いました。
◆シニアいきがい事業実行委員会 主催



ツインアーチ橋
架設年：平成3年
橋長：280m

環状線を通り東光方面と緑が丘方面を結ぶ橋。技術面において、この形式の橋としては、当時国内最大規模で作られたこと、市民の意見を反映したデザインにより、旭川市のランドマークとなったことなどから、第4回全国街路事業コンクール会長賞を受賞した。
参考：全国街路事業コンクール30周年記念誌 全国街路事業コンクール入賞事業集
<写真提供>
本松 富夫さん(東豊中央地区)



東光スポーツ公園



武道館

★ちよだカフェパネル展★
認知症に関するパネルとちよだカフェの様子を東明中学校に展示しました。
◆シニアいきがい事業実行委員会 主催



★東光健康ウォーキング★
武道館前をスタートし、東光スポーツ公園から河川敷を通る5kmと3kmのコースを、総勢88名がウォーキング。旭川龍谷高校陸上部の学生も参加し、歩き方指導をしてくれました。
◆東光(U・D)チクリンピック実行委員会 主催



防災センター

★遊び場「トントン村」★
東部東陽町内会館で、地域の子どもの居場所として開催。室内では、パンケーキ作りやテーブルホッケー等、夏から秋にかけては、東光ふじ公園でモルックなどの外遊びや焼き芋体験などを行いました。
◆遊び場「トントン村」実行委員会 主催



★東光スマホ教室★
武道館で、シニア世代を対象としたスマホ教室を開催。旭川龍谷高校インターアクトクラブの学生が講師となり、スマホに関する疑問・質問に答えていただきました。
◆シニアいきがい事業実行委員会 主催



◆東光地域で活動してます◆

東部東光市民委員会では、新型コロナ禍のなか、主要事業の一つである「ふれあいフェスタ」が、余儀なく3年間中止に至りました。このような状況から、理事会において事業の見直しがなされ「ふれあいフェスタ」及び類するイベントは今後開催しない、専門部組織を廃止する等の案件が決議されました。令和6年度は、当市民委員会創立20周年の節目の年にあたります。これを機に、市民委員会のあるべき姿を再確認、共有し、住民が自主的、自発的に参加するための様々な事業を取り入れ、活動を展開していく必要があると考えています。
【東部東光市民委員会 副会長 高橋 重治】

千代田市民委員会は、令和5年に発足50周年を迎えました。現在、31の町内会が、地域の活性化を目指して様々な事業に取り組んでいますが、これも、先人の努力の積み重ねがあつてのことと感じています。市民委員会についても、ここ数年は新型コロナ感染症の影響で、活動が制限・中止となる場面がありましたが、これからも、各町内会だけではなく、行政や地域団体と連携し、千代田地区に住む方々が、充実して暮らせる地域づくりを目指していきます。
【千代田市民委員会 会長 原田 守】

東豊中央社会福祉協議会は、令和5年に創立20周年の節目を迎えました。ここ数年はコロナ禍の影響があり、事業の中止もありましたが、令和5年9月18日には、4年ぶりの敬老会を開催することができました。150名の方に御参加いただきましたが、会場までの交通手段がなく参加できなかったという声もあり、今後、より多くの方に御参加いただけるよう、会場の見直しなど協議する予定です。高齢者の方が元気に暮らせる地域を目指して頑張ります。
【東豊中央社会福祉協議会 会長 松原 正雄】

令和5年8月6日、11町内会から大勢の方々が東地区体育センターに集まり、役員・民生委員・ボランティア等多くの方々の御協力をいただき、4年ぶりの「ふれあいフェスティバル」を実施しました。ポッチャ大会では、皆さん初めての経験に、大いに盛り上がりました。3時からは焼き鳥やおでん等を販売し、その後は子ども盆踊りやビールパーティー等、カラオケ発表では皆の歌声に溢れ、地域の方々の交流と親睦が深まった楽しいひと時でした。
【東豊中央市民委員会 会長 本松 富夫】

白熱したポッチャ大会

東旭川・千代田地域包括支援センターは、介護・福祉・保健の側面から65歳以上の高齢者の方を支える「総合相談窓口」として、平成27年4月、東旭川支所に新設されました。地域包括支援センターを上手に活用することは、介護予防の早期着手となり、介護そのものを遠ざけたり、今後の介護に対する「備え」を行うことができます。東旭川・千代田地区にお住まいの高齢者の方々が、「自身」に「自信」を持って笑顔で生活が送れるよう、職員一同業務に邁進してまいります。
【東旭川・千代田地域包括支援センター(東旭川支所内) センター長 澤田 典子】

東明中学校は、昭和59年4月に開校し、令和6年に40周年を迎えます。「東明」の由来は、旭川市の東方にあって、明るく輝くような中学校に発展すること、常に清新な気持ちで希望をもって明るく、勉学に励み、新しい時代に強く成長してほしいという願いからです。現在、450名の生徒たちは、『燃えよう』『流そう』『輝こう』の合言葉のもと、学習に、学校行事に、部活動等に、懸命に取り組んでいます。
【旭川市立東明中学校 校長 中山 洋】

23'9.8 東明祭 旭川市民文化会館にて